

豊見城市コミュニティ・スクールについて

～「地域とともにある学校」を目指して～



令和8年4月26日（日）

豊見城市立長嶺小学校



豊見城市コミュニティ・スクール導入の現状について

- 令和4年度、座安小学校がコミュニティ・スクールのモデル校として先行して導入。
- 令和5年度、豊見城市教育委員会が「豊見城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」を策定。同年4月1日より施行。

同規則により、座安小学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールをスタート。

- 令和6年度、豊見城市内全小中学校において「コミュニティ・スクール」がスタート。

どうして今、

コミュニティ・スクールが必要なのか？



子供たちが生きる未来

少子高齢化、人口減少により、社会の激しい変化は避けられない

グローバル化、情報化等により、変化が激しく予測困難な未来




子供たちの65%は、今存在しない職業に就く。

今後、10～20年程度で、今ある仕事の47%はAI等により自動化される。

子供たちが生きる未来

今後、社会において求められる能力



- 社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できること
- 多様な人々と協働していくことができること
- 新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことができること

(参考：学習指導要領改訂における3つの視点)

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題

いじめ

不登校

学力格差

規範意識の低下

子どもの貧困

児童虐待

コミュニケーション力低下

ネット依存・SNSトラブル



学校の現状

各種研修会

職員会議

保護者対応

生徒指導

学校だけで対応することが
難しい状況に・・・

学習指導

部活指導



学校が抱える課題は複雑化・多様化

学校だけでの子供の教育では限界

学校と地域の連携・協働が重要

社会総掛かりでの教育の実現が必要

「地域とともにある学校づくり」への転換





コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していく仕組みです。



コミュニティ・スクールとは？



コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、学校運営協議会（合議制の機関）を設置した学校を指し、「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした国の制度になります。

コミュニティ・スクールの委員について

「豊見城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」
(第5条)において定められており、次のような構成です。

- (1) 地域住民
- (2) 保護者
- (3) 学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 学校の校長
- (5) 学校の教職員
- (6) 学識経験者
- (7) 関係行政機関の職員
- (8) その他、教育委員会が適当と認める者



本校のコミュニティ・スクール委員

本校のコミュニティ・スクール協議会委員は下記の方です。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 仲座千恵子（校長） | 9. 田中なえ子 |
| 2. 佐和田忠浩（教頭） | 10. 宮城 恵 |
| 3. 島袋 巧也（教務） | 11. 金城 恵 |
| 4. 神谷 優作（生徒指導主任） | 12. 金城 守 |
| 5. 仲宗根綾子 | 13. 宮平るみ子 |
| 6. 浦崎 直壮 | 14. 本永 文彦 |
| 7. 安里利江子 | 15. 松田 博之 |
| 8. 濱里 明 | |



コミュニティ・スクールの役割は？



- ① 校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する
- ② **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- ③ **教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる

コミュニティ・スクールの役割は？



① 校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する

○ 育てたい子供像や目指す学校像に関する、学校運営のビジョンを共有

○ 学校と協議会が対等な立場に立ち、お互いに当事者意識を持って、目指すところを共有し、協働へとつなげていく

コミュニティ・スクールの役割は？



② **学校運営について**、教育委員会又は校長に
意見を述べることができる

○ 保護者・地域の声を学校運営に生かし、その意見を反映させる

○ 個人の意見がそのまま尊重されるのではなく、保護者や地域住民等の代表による合議体として意見を述べることとなります

コミュニティ・スクールの役割は？



③ **教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる。

○ 実現しようとする教育目標等に合った教職員の配置を求めるための重要な機能

例；英語教育の充実、体力向上、情報教育の推進ICT

学校と地域の共通の目標やビジョン

- ◆ 地域として、学校でどんな子供を育てたいのか
 - 郷土を誇りに思う子ども
 - 健康でたくましい子ども
 - ITに強い子ども ○ 国際感覚豊かな子ども 等
- ◆ その為には、学校でどんな取り組みをしていくのか
 - 地域や地元の特徴を生かした、授業を取り入れていく
 - 地域の人材を生かした、授業を取り入れていく
 - 専門的分野の強い教員や人材を集める



地域とともにある学校運営に欠かせない3つの機能

熟議

地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わるより多くの方の意見を取り上げることができます。

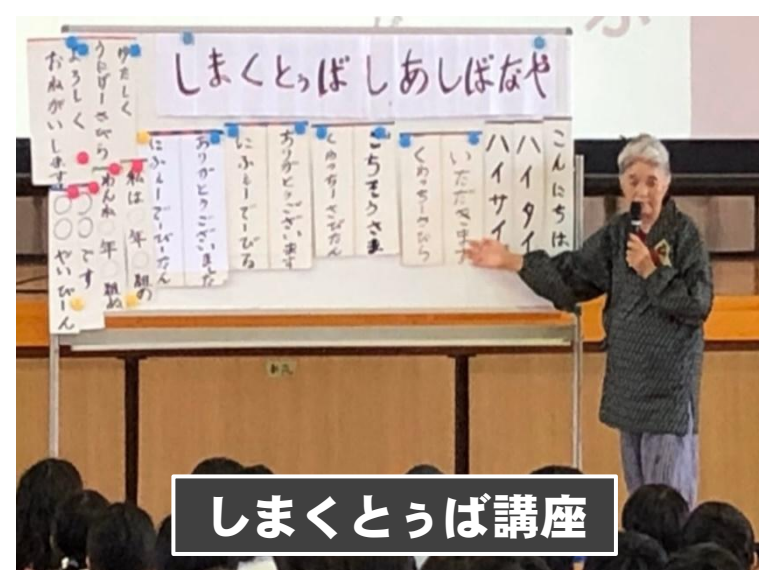
協働

「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが大切です。

マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向けて学校内の組織運営を管理することにとどまらず、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく力が必要です。

学校と地域が連携した例 ① (PTA・地域住民)

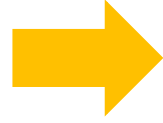


学校と地域が連携した例 ②（自治会、企業・団体）



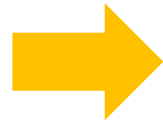
コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の主なメリット

校長、教職員の異動に
左右されない



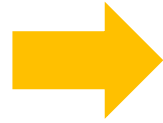
組織的・持続的な体制の構築 = 持続可能性

目標・ビジョンの共有



当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

基本方針の承認



目標・ビジョンを共有した協働活動

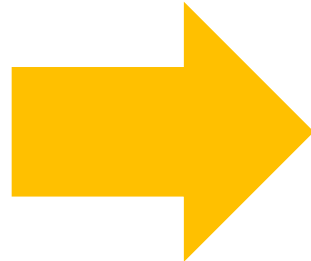
個人個人のがんばりに
依存していた学校支援

共通の目標に向かい、負担を皆で分け合い、
組織的に学校を支え、持続可能な仕組み

これまでの学校



個別の活動



総合化・
ネットワーク化



自治会への**未加入**

地域の**希薄化**

地域行事への
若者の**不参加**

地域の課題

地域教育力
の**低下**

地域の**高齢化**

伝統行事・伝統文化の**継承者不足**

学校が地域に協力できることはないのか？

例えば、「**地域ボランティア活動**」

→ 自分の住んでいる自治体で、自分たちで考えた活動をする



地元海岸の清掃活動



老人会とコラボしての清掃活動



清掃活動後にデイサービスで交流

学校が地域に協力できることはないのか？

例えば、「地域行事への参加・参画」

→ 地域行事に、自分の役割をもって参画する



グランドゴルフ大会に
スコアラーも兼ねて参加



伝統行事の演目に参加



地域行事に司会として参加

地域連携で必要な視点

学校が地域に貢献する活動を展開していく際には、児童会・生徒会活動等の自発的・自治的な活動を重視して進めていく。

地域の活性化を促進するため、学校の教育活動等を通して、地域住民同士の交流を深める機会がもてるように検討していく。



コミュニティ・スクールの意義

地域とともにある学校への転換

- ・「開かれた学校」からさらに一步踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む『地域とともにある学校』への転換

子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

- ・地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」の構築

学校との協働による地域活性化の推進

- ・学校との協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る

令和7年度の活動事例①

※各学校が令和7年度に活動した事例を紹介！

令和7年度の活動事例②

※各学校が令和7年度に活動した事例を紹介！

コミュニティ・スクールが充実すると



**子供、教職員、保護者、地域の人々に
様々な、魅力が広がっていきます！**

コミュニティ・スクールが充実すると

子供にとっての魅力



- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとっての魅力



- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

コミュニティ・スクールが充実すると

保護者にとっての魅力



- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

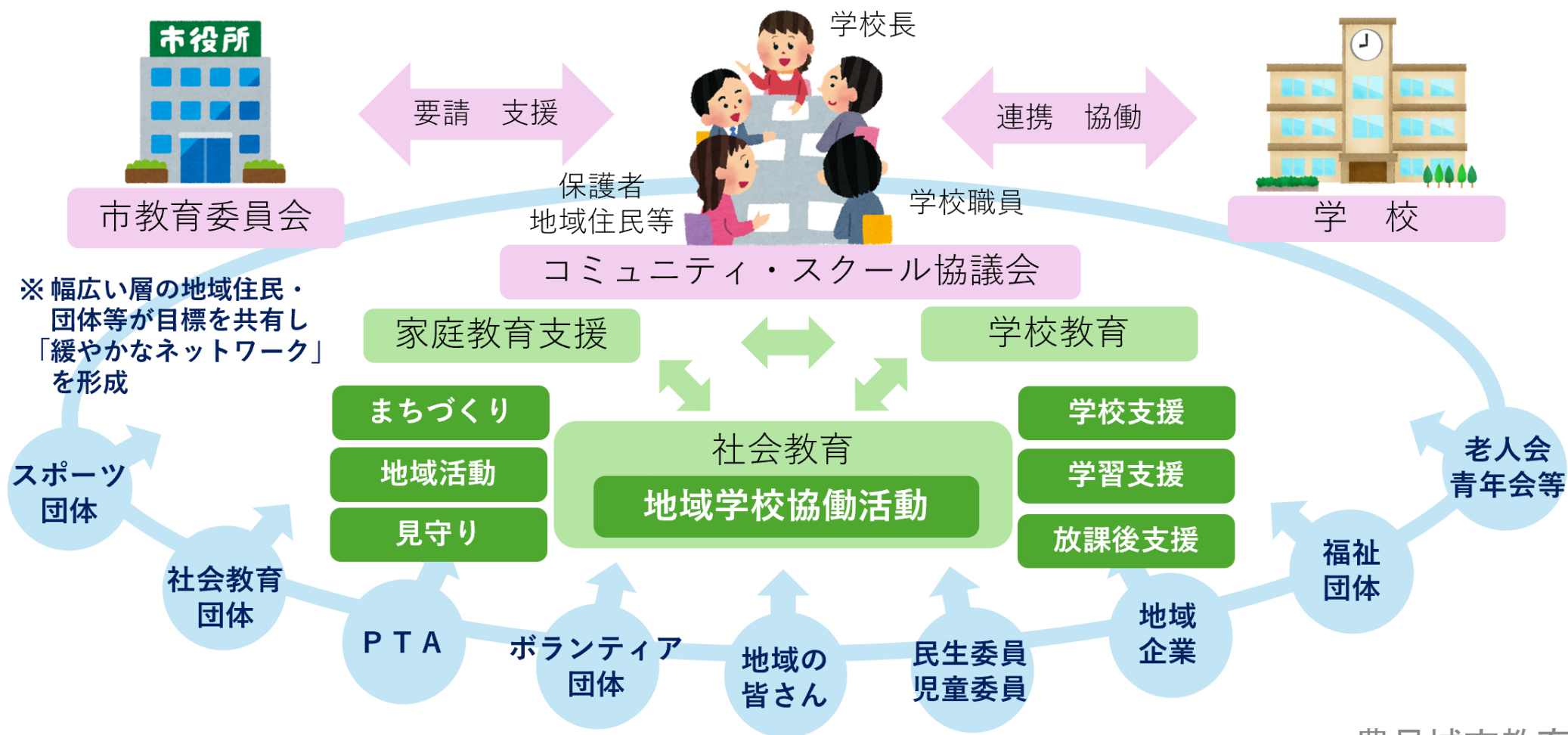
地域の人々にとっての魅力



- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

「地域とともにある学校」と地域との連携・協働の姿

豊見城市全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるネットワーク



「地域とともにある学校」と地域との連携・協働の姿

学校



パートナーとしての
連携・協働関係

地域



共有した目標に向かって、対等な立場の下で、
共に活動する協働関係

双方向性

対等性

令和8年度 豊見城市コミュニティ・スクールスケジュール

- 3月 ⇒ 各校CS委員選定・氏名報告
- 4月～ ⇒ 第1回CS協議会の開催（各学校で）
- 5月中旬 委嘱状交付
- 5月 ⇒ 広報とみぐすくへの周知記事の掲載
- 5月以降 ⇒ 第2回～5回協議会の実施（各学校の計画）
- 6月 ⇒ 第1回CS研修会（各中学校区合同協議会）
- 7月 ⇒ 第1回豊見城市CS協議会の開催

令和8年度 豊見城市コミュニティ・スクールスケジュール

- 9月 ⇒ 第1回CSミーティングの開催
- 1月 ⇒ 第2回豊見城市CS協議会の開催
- 1月以降 ⇒ 次年度準備・計画
- 2月 ⇒ 第2回CS研修会の開催

※ 第2回CSミーティングの開催（時期未定）

令和8年度 長嶺小学校コミュニティ・スクールスケジュール

4月 ⇒ 第1回CS協議会の開催
委嘱状交付

6月 ⇒ 第1回CS研修会（各中学校区合同協議会）

〇月 ⇒

〇月 ⇒

〇月 ⇒

地域とともにある学校へ！



コミュニティ・スクール

